

## 差別をなくすために

氷川町人権啓発集会

3月3日、氷川町文化センターにおいて第3回氷川町人権啓発集会が行われ、八代地区人権同和教育研究協議会の有馬信一さんが「被差別民の歴史」と題し講演されました。

有馬さんは講演の中で、「差別はなくなりません。昔と価値観も変わり、何百年もかけてここまで来ました。これが逆行することはありません。私は確信を持っています。」と話され、参加者からは「歴史を通じて差別を学ぶことができた。」「先生の言葉に希望を感じた。」などの感想が聞かれました。

また、講演終了後には8月に募集した人権作品の優秀作品表彰も行われました。



▲講師の有馬信一さん

## 100歳おめでとう!

氷川町名誉長寿表彰

3月5日、この日100歳の誕生日を迎えられた小嶋タケヲさん(上鹿島)に長寿のお祝いとして藤本町長よりお祝い状と花束が手渡されました。タケヲさんは、大正2年生まれ。現在は、老人ホーム「やすらぎ荘」で穏やかに生活されています。

タケヲさんについてご家族にお話を伺うと、「歌や踊りが上手でしっかりした思いやりのあるおばあちゃんです。100歳まで長生きできて幸せだと思います。」と笑顔で話されました。タケヲさん、これからもますますお元気で過ごしてください。



▲ご家族に囲まれて

## 公民館活動の二層の振興を

氷川町公民館大会

3月10日、氷川町文化センターにおいて、平成24年度氷川町公民館大会が行われ、約100人が参加しました。

大会では、12月に優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞された氷川町地域コーディネーターの宮村惇さん(西上宮)の活動発表のほか、料理講座講師の河野京子さん(北鹿野)による特産品を使った料理の試食などもありました。

また、アンビシャス運動を展開している福岡県久山町教育課長の伴義憲さんによる講演では、「子どもを育てるのは地域の力が重要です。」と実体験を基に話されました。



▲活動発表を行う宮村惇さん

## 先生、仲間、親に感謝

町内中学校で卒業式

3月12日、町内中学校において、卒業式が行われました。

竜北中学校では、厳かな雰囲気の中、千野校長から一人ひとりに卒業証書が手渡され、生徒を代表して吉村啓志くん(下鹿島)が「仲間が協力することの大切さを教えてくれました。仲間と過ごした日々はかけがえのない思い出になるでしょう。共にたくさんの思い出を作ってくれたみんなありがとうございます。」と答辞を述べました。

今年度の卒業生は、竜北中80人(男41人・女39人)、氷川中34人(男11人・女23人)の計114人で、3年間親しんだ学び舎を巣立っていました。



▲答辞を述べる吉村啓志くん(左)

## 町民文芸

### 短歌

- 髪薄れ千円カット重宝す  
されど五分でリーズナブルか  
法道寺 本田 花風
- ご近所の馴染みの犬も吾が身みなり  
少し変われば不意に吠え出す  
北野津 宮本 末秋
- 鶯の鳴き交ふ声に和みつつ  
グランドゴルフの大会にをり  
高塚 桑原ゆき代
- ひな祭り亡母手作りし人形は  
遠き記憶の奥にはほほ笑む  
吉本 高橋 澄子
- コロッケの話になれば手を広げ  
姉の話しに花の咲くなり  
西野津 古崎スエノ
- 朝露の川のせせらぎ聞きながら  
雲の彼方に月が輝く  
新村南 濱田 照昭
- 連れ添って雨のち晴れの折り返し  
人生孫子花咲くまでは  
南鹿野 尾崎 京子
- 重苦し冬去り吹くは春の風  
只わけもなく心浮き立つ  
吉本 橋村 正之

### 俳句

- 春日和金柑の実啄みて  
小鳥の一群光で遊ぶ  
西野津 古崎 栄子
- 三本矢的中せよよ安倍政権  
日本平和が世界を照らす  
高塚 竹中 力
- 泥中に白蓮ありて世を輝らす  
余命いくばく聖峰に謝す  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 母子草背なのランドセル輝いて  
北野津 宮本 末秋
- 生産者名記入してありトマト買ふ  
高塚 桑原ゆき代
- 浅漬けの子持ち高菜を頂きぬ  
吉本 高橋 澄子
- ふる里は皆佳き人や梅の花  
西野津 古崎スエノ
- 故里の先祖の墓に花生ける  
新村南 濱田 照昭
- 字足らずも字余りもあり我投句  
南鹿野 尾崎 京子
- 菜の花や散歩のコース替えにけり  
西野津 古崎 栄子
- 肥後スミレ五木山道行き止り  
高塚 竹中 力
- 窓の霧だんだん消えて春景色  
町 香山菊童子

### 赤い糸

吉本 橋村 正之

- 涙して友の死を聞く春の雨  
町 香山セツ子
- 立ちすくみ諸行無情の花辛夷こしよし  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 暮れなずむ揺れて真白き雪柳  
桜ヶ丘 吉田 照子
- 法灯のゆらぐ彼岸の庭にわ明り  
町 田中 澄子
- 花冷える風評被害まだ止まず  
桜ヶ丘 宮崎トシ子

辞令一枚転々の  
総合職の宿命も  
今度ばかりは嬉しいね  
心ひかれる人が居た  
着任挨拶する人を  
熱い目で見る私なの  
ずっと待ってた王子様  
やっと姿を見せたのね  
思いを込めたあの人の  
熱い視線を感じるが  
僕も彼女を目の端に  
いつも入れてる此頃だ  
お互いその気有るけれど  
仲々きつかけ掴めない  
バレンタインはもうすぐね  
張り込まなくちゃ思い切り

### 銀杏の樹

法道寺 本田 花風

氷川橋の堤防たもとの小さなカフエが  
瀟洒な住まいの一角で珈琲を振る舞って  
くれる。堤防の降り口に一本の銀杏の樹  
がある。「渡良瀬橋」は森高千里の歌  
で大ブレイクし今も多くの観光客が足  
を運ぶそう。氷川橋は昭和六十二年  
洪水で落下し地域に迷惑をかけた程  
度のニュースしかなく歌になるほどの風  
情もない。カフエは庭づくりの先に鎮座  
しており、営業は暇つぶし程度で店休  
日が度々ある。店主は私より十歳ほど  
若い。新調の店に公私を兼ねて妻と訪  
れたのが最初であった。

店主の淡々と交わす相づちが心地よい。  
名物になつては店主が困るだろうが、  
“銀杏の樹”、記憶に残るヒット曲でも  
できそうなイメージはある。遠の昔、社  
歌募集に応じたが選出された歌詞と  
あまりにもできの違いに、以来歌詞を作  
る意欲は全く湧くことはなかった。この  
年で古びた「現代詩作講座」を開帳し  
てみたが、結果がどうなるか疑問符である。

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。  
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。